

2022年1月6日

住友生命保険相互会社

AI-OCRを活用した給付金請求手続きのデジタル化を開始

～診療明細書から文字を読み取り、お手続きの負担を軽減～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、シミセイダイレクトサービス^{※1}をご利用のお客さまを対象に、インターネット（パソコン・スマートフォン等）による給付金請求手続きのデジタル化（以下、「本サービス」）を開始します。

※1 シミセイダイレクトサービスとは、ご自宅や外出先などから、インターネット等で契約内容のご確認、入出金取引、各種お手続きなどがご利用いただけるご契約者向け取引サービスです。

1. 本サービス導入の目的

住友生命は、「社会公共の福祉に貢献する」をパーパス（存在意義）に掲げ、職員一人ひとりが提供する「人に根差した価値」にさらに磨きをかけるとともに、「デジタル」を活用した「人とデジタルの融合」によって、「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」への貢献を目指しています。

本サービスの導入によって、ご病気やお怪我をされたお客さまに対し、これまで取り組んできた「人」による親身・丁寧なサービスに、「最先端のデジタル技術」を融合することで、お客さまの「よりよく生きる」に貢献し、さらなる安心の提供を実現します。

2. 本サービスの概要

本サービスは、1月4日よりご案内しております。住友生命ホームページのお客さま専用ページにて、医療機関から発行される診療明細書の撮影・アップロードなどを行っていただくことで、給付金のご請求手続きをオンラインで完結いただけます^{※2}。

また、撮影いただいた診療明細書から、入院期間や手術名等を AI-OCR（人工知能を搭載した光学文字認識システム）で読み取り、その場でご請求可否を判定することでお客さまへの安心感を提供します。さらに、読み取った情報をお客さまのパソコンやスマートフォン等に自動反映する機能を搭載し、請求情報入力にかかるお客さまのご負担を軽減します。

※2 オンライン上で完結できる請求には一定の条件があります。詳細は住友生命ホームページをご参照ください。

<https://www.sumitomolife.co.jp/contract/service/hospital.html>

これにより、請求書類の取り寄せ・ご返送などに要していた日数が不要となり、お手続き当日のお支払い決定※³も可能となります。

※3 お客さまの口座へのお振込みは翌営業日になります。

なお、同時に営業職員のタブレット端末を通じた給付金のご請求においても、医療機関発行の必要書類を撮影し、情報をタブレット端末に入力することでご請求が完結するサービスを開始しております。

今後は、お客さまのご都合に合わせて様々な請求方法を選択いただけるようになります。

3. 本サービスのご請求の流れ

以下の流れでご請求いただけます。なお、給付金のお支払い対象か否か、ご請求に必要な書類についても自動で判定が可能です。



4. 本サービスの導入にあたり採用した外部サービス

AI-OCRについては、株式会社シナモンのFlax Scannerを採用しています。Flax Scanner（フラックス・スキャナー）は、AIを活用した文字認識システムであり、診療明細書などの非定型帳票の読み取りに強みを持ち、ご請求手続きの簡素化の他、後続の支払事務にも活用することで、迅速、かつ正確なお支払いを実現します。

■株式会社シナモンについて

会 社 名 : 株式会社シナモン
設 立 : 2016年10月
事 業 内 容 : 機械学習やディープラーニングを活用したAI（人工知能）に関連する
コンサルティング、プロダクトの提供。
本社所在地 : 東京都港区虎ノ門3-19-13 スピリットビル6階
代 表 者 : 代表取締役社長 CEO 平野未来

以上